


豊田合成の経営資本 -70年以上の歴史を積み重ねて培ってきた経営資本-

※このデータは2023年3月時点(拠点数のみ2023年7月31日時点)

経営資本は持続的な企業価値向上に向けた大切な源泉になります。

豊田合成は経営理念に基づき価値創造の循環を繰り返しながら経営資本を培い、

先読みした事業機会やリスクへ適切なタイミングで資本を投入していきます。



人的資本

従業員数


38,942名

企業の進化と成長を支えるダイナミズムに満ちた「高分子型組織」へ変革

当社は世界16カ国・地域、グループ62社で事業展開をしています。国籍・性別・年齢・ライフスタイルなどの異なる多様な価値観や才能を持つ従業員の個性やパワーを引き出し、有機的な結合により新たな創造性やパワーを生み出し、ダイナミックな「高分子型組織」の実現を通じて、持続的な進化と成長を目指していきます。

- 海外従業員比率: 75.7%
- ローカル幹部比率: 32%
- 女性管理職(単体): 33人
- 中途採用者管理職比率(単体): 31.3%

ダイバーシティ&インクルージョン [P.62](#)



社会・関係資本

サプライヤー数(単体)


773社

ステークホルダーとの丁寧な対話による強固な関係を構築

自動車業界は電動化や自動運転の進展など大きな変革期を迎えています。経営ビジョンを実現していくには、様々なステークホルダーとの円滑な連携が重要です。当社はステークホルダーと丁寧に対話を重ね、社会への価値提供をとおして、強固な相互信頼関係を構築・維持し、厳しい事業環境の中でも柔軟に適応しながら、着実に進化し続けます。

- 大学共同研究(名古屋大学、大阪大学、東北大学)
- アナリスト・機関投資家向け個別ミーティング: 109回

社会への取組み [P.60](#) IR活動 [P.99](#)



製造資本

拠点数

62社

(2023.7.31)


グローバルネットワークとゴム・樹脂の知見を活かして世界中のお客様へ「安心・安全」「快適」「脱炭素」を提供

世界中のお客様のニーズにタイムリーにお応えできるよう、各地域に密着した営業・技術体制とグローバルで最適な生産・納入体制を整えています。加えて、70年以上培ってきた自社の強みである「ゴム・樹脂の知見」を活かし、工法や生産設備を革新的に進化させ、モノづくり力を高めています。

ICP(インターナル・カーボンプライシング)を導入し、地球環境と経済活動のバランスを踏まえ、投資判断しています。

- 設備投資費: 488億円
- CO₂排出量削減(単体): △32.2%(‘15年度比)

競争優位性 [P.15](#)



自然資本

総エネルギー投入量

231.1万GJ[※]


※ギガジュール(1,000,000,000J)

培ってきた環境技術と知見を活かした「気候変動」と「資源循環」への取り組み

当社は、1993年に「第1次環境取組みプラン」で本格的に環境活動を開始し、約30年間精力的に取り組んできました。自然資本はマテリアリティ(重要課題)やアウトカムの根源であり、これまで培ってきた「環境保全の知識・技術」と競争優位性である「ゴム・樹脂分野の知見」をより進化させることで、自然資本の効率的な資源投入と環境負荷を低減し、地球環境・資源の保全と経済的価値の創出の両立を目指していきます。

- 総物資投入量: 38,935t
- 水資源投入量: 105万m³
- 再生可能エネルギー投入量: 3.4万GJ
- ISO14001 生産事業所取得率 100%(環境マネジメントシステム)

マテリアリティ [P.18](#) 環境への取組み [P.54](#)



知的資本

研究開発費

342億円


高分子の可能性を追求し唯一無二な研究開発力を磨きあげ競争力を一層高める

クルマの様変わりに伴う変わりゆく未来を見据え、社会やお客様のニーズを先読みし、提案できる技術力を持ち合わせていくことが重要です。研究開発力は企業成長の源泉であり、直近3カ年で約1,000億円の研究開発費を投入し、高分子の可能性を追求した、新規・既存事業の研究開発を推進しています。IPランドスケープなどを活用し新規事業開発の意志決定の正確性とスピードアップを図り、競争優位性をさらに高めています。

- 開発・技術員(単体): 2,293人
- 保有特許数: 4,835件

財務・非財務ハイライト [P.96](#) 競争優位性 [P.15](#)

研究開発 [P.30](#) 知的財産戦略 [P.36](#)



財務資本

TG-ROIC[※]

8.2%

(2022年度)

持続的成長と企業価値向上を支える健全な財務マネジメント

持続的成長と企業価値向上のためには、設備や研究開発、アライアンスなどへの継続的な投資が必要となります。

当社は「健全な財務マネジメント」により財務基盤の安定性を維持し、必要なタイミングで財務資本を効果的に使用することで継続的な成長を実現します。TG-ROICなどの新しい管理指標を導入し、企業価値創造の評価を行うなど、より多面的な財務マネジメントを実践していきます。

※TG-ROIC = $\frac{\text{営業利益}}{\text{固定資産} + \text{棚卸資産}}$

- ROE: 3.6%(2023.3)

財務方針: 財務担当役員メッセージ [P.43](#) 財務・非財務ハイライト [P.96](#)